

授業科目	保育内容「表現」の指導法（音楽・身体）				単位	1		
履 修	選択	関連資格	幼二種免 保育士		ナンバリング	CH21312J		
開講年次	2	開講時期	前期	該当DP	DP1-2 DP5-2 DP5-3			
担当教員	山路 麻佳							
授業概要	<p>子どもの発達段階に即した表現の特徴を踏まえ、子どもの感性や創造性を豊かにする表現活動について理解する。</p> <p>身近な物や楽器、身体を用いた表現など様々な表現活動を体験することで、音楽的技能や表現力の向上だけでなく、表現することの楽しさを伝えられる保育者となるよう実践を通して学ぶ。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 保育内容「表現」のねらい及び内容を理解することができる。 2. 様々な楽器の奏法を学び、表現することができる。 3. 子どもの表現を引き出す即興演奏をすることができる。 4. 表現することの楽しさや喜びを感じることができる。 5. 子どもの発達段階に即した活動内容を考え実践することができる。 							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	50	50	0	0	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)			20	10			30	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)								
態度(DP4-1)								
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)			25	30			55	
技能・表現 (DP5-3)			10	5			15	
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
子どもの発達段階に即した表現について理解し、遊びや環境の中で発達に応じた表現活動を考え展開することができる。 表現することへ興味・関心を持ち、自ら表現する楽しさや喜びを感じることができる。				子どもの発達段階に即した表現について理解し、発達に応じた表現活動を考え実践することができる。 表現することへ興味・関心をもって活動することができる。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法		学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)
1	テーマ:オリエンテーション 授業の概要、評価方法について理解する。			講義		「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「認定こども園教育・		30

	「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「認定こども園教育・保育要領」における領域「表現」から、表現の意義を考える。		保育要領」の領域「表現」のねらい及び内容を確認しておく。	
2	テーマ:子どもの発達に即した表現 発達段階に即した表現について理解する。 生活や遊びの中での音楽表現について考える。	講義・演習	講義の内容を復習する。	30
3	テーマ:音と動きによる表現① ダルクローズのリズムについて理解する。 幼児期にリズムを取り入れる意義や特徴について学び実践する。	講義・演習	拍子とリズム、ハ長調のコード伴奏について確認しておく。	30
4	テーマ:音と動きによる表現② 音や音楽から感じたことを身体で表現する即時反応について実践を通して理解を深める。 動きを引き出すためのピアノ即興演奏の技能を習得する。	講義・演習	演習の中で使用した、ピアノ演奏を動きに合った適切なテンポで弾けるよう繰り返し練習する。	30
5	テーマ:オルフの音楽教育 オルフの音楽教育について理解する。 言葉のリズムや抑揚から歌を創作する。 模倣と問答、即興によるリズム表現を学ぶ。	講義・演習	日頃使っている言葉や、絵本の中で繰り返し出てくる言葉等を使い、リズムや抑揚から歌を創作する。	30
6	テーマ:楽器を用いた表現活動① 楽器の特徴と正しい奏法について理解する。	演習	講義の内容を復習する。	30
7	テーマ:楽器を用いた表現活動② 楽器や身近なものを用いた音あそびについて実践を通して学ぶ。	講義・演習	身の周りにある物から音の素材を探す。	30
8	テーマ:歌う表現活動 手や身体をつかった歌あそびについて学ぶ。 子どもの歌と歴史について学び、わらべうたの特徴と意義について理解する。	講義・演習	わらべうたの曲や遊び方について調べる。	30
9	テーマ:ドラムジカの創作① グループに分かれて選曲、台本の作成をする。 台詞や場面に合わせた音楽表現を考える。	講義・演習(グループワーク)	子どもの歌について調べ、歌詞や曲調からドラムジカの題材として使えるような曲を書きだす。	30
10	テーマ:ドラムジカの創作② グループごとにドラムジカの発表を行う。	演習(グループワーク)	発表に向けて作成したドラムジカの練習をする。	60
11	テーマ:発達段階に即した教材研究① 0, 1, 2歳児を対象とした教材の研究	演習(グループワーク)	対象とする年齢を考えて表現の素材を考えておく。	30
12	テーマ:発達段階に即した教材研究② 3, 4, 5歳児を対象とした教材研究	演習(グループワーク)	対象とする年齢を考えて表現の素材を考えておく。	60
13	テーマ:模擬保育① 0, 1, 2歳児を対象とした音楽表現活動の内容を考え、グループごとに実践する。	演習(グループワーク)	実践に向けて繰り返し練習しておく。	60
14	テーマ:模擬保育② 3, 4, 5歳児を対象とした音楽表現活動の内容を考え、グループごとに実践する。	演習(グループワーク)	実践に向けて繰り返し練習しておく。	30
15	テーマ:まとめと振り返り	講義	授業資料をまとめておく。	30
16				
17				
18				

19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	<p>普段の生活の中にどのような音があるか、表現するとはどういったことか考えること。 1年次に習得したコード伴奏(ハ長調)について復習しておくこと。 授業内で身体を使った表現活動を行うことがあるため、動きやすい服装で受講すること。</p>			
テキスト	<p>適宜プリントを配布する。 各自でファイルを用意しプリントを整理していくこと。</p>			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	<p>『平成 29 年告示 幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領』チャイルド本社 今泉明美・有村さやか『子どものための音楽表現技術－感性と実践力豊かな保育者へー』株式会社萌文書林 古市久子『保育表現技術 豊かに育つ・育てる身体表現』ミネルヴァ書房 小林美実『こどものうた 100』チャイルド本社</p>			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	<p>生活の中にある身近なものや音などに常に興味をもち、自分なりの表現というものを意識して過ごしてください。 また、授業で扱う曲や演奏技能は繰り返し復習することにより、自分の力となり自由な表現活動を行っていくことができます。子どもに合わせた表現活動を行っていけるよう十分な練習に取り組んでください。</p>			
達成度評価に関するコメント/課題に対するフィードバックの方法	<p>提出物は毎回期日を伝えますので、遅れないように提出してください。 内容については、授業内で指示します。 発表は内容だけでなく、日頃の演習への参加状況も評価に含みます。</p>			

